

目次

- (一面)
 - ・書面総会について 事務局長 高津省三
 - ・令和2年度事業計画 事務局長 常陽中学校長 徳山壮一
 - ・視点
- (二面)
 - ・新型コロナウイルス感染症を「正しく恐れる」 武庫地域振興センター 所長 立石孝裕
 - ・尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例ができました! 三澤雅俊
 - ・武庫小学校における人権啓発活動 武庫小学校校友会 会長 寺尾嘉雄



武庫地区人権啓発推進委員会

尼崎市南武庫之荘 11丁目6番15号

尼崎市立地域総合センター南武庫之荘

電話・FAX 6438-5875

令和2年7月22日

武庫地区人権啓発推進委員会 書面総会が開催されました。

ご承知の通り、このたび、新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、令和2年度は書面での総会とさせていただきます。

例年なら6月に総会を開催し特別講演会を開催するところですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から武庫地区人権啓発推進委員会(武庫人権推)を構成する各団体の総会や会議が容易に開催できず、各委員名簿が揃うのも遅くなりま

した。7月になって名簿が揃いましたので総会資料(案)

令和2年度事業計画

令和2年度の事業計画としては、以下のものを計画しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更や中止となる

ことがあります。

(事務局)

人権問題講演会・研修会

武庫地区人権啓発推進委員会の推進委員、協力委員、人権啓発リーダーを対象に実施します。

・総会時特別講演会(中止)

・人権啓発リーダー研修会(9月16日)

・各種団体別合同研修会(10月中旬、2月中旬)

人権週間の取り組み

12月4日~10日までの1週間を



令和2年度事業計画

「人権週間」として、様々な啓発活動に取り組みます。

- ・啓発用パネルの設置(武庫西・東生涯学習プラザ、女性センターテレビエ)
- ・のぼり・横断幕の設置(武庫西生涯学習プラザ、西武庫公園、阪急武庫之荘駅前南北ロータリー、武庫小学校)
- ・街頭啓発活動(12月1日啓発チラシの配布、駅前パネル展示予定)(阪急武庫之荘駅前北)
- ・街頭啓発用チラシ袋詰め作業及び啓発ビデオ鑑賞
- ・人権問題講演会

市民啓発紙『武庫しののめ』の発行(97号・98号)

武庫地区人権啓発推進委員会の事業や人権啓発に係る記事・情報を、武庫地区管内に新聞折り込み等で配布します。

- ・年2回発行(9月、3月)

武庫地区人権啓発推進委員会のこれまでのあゆみ

昭和57年、武庫地区人権啓発推進委員会の前身である「武庫地区人権学習推進委員会」が、人権草の根運動の素地をつくることを目的に発足しました。その後、武庫地区人権啓発推進委員会に発展・改称し、人権意識の高揚と同和問題をはじめとするあらゆる差別に対する正しい理解と認識を深めることと、また人権啓発リーダーの育成を目的として、講演会・研修会の開催、人権週間の

市民啓発紙『武庫しののめ』の編集発行などを実施してきました。

講演会・研修会では様々な方を講師に招き、人権に関し様々なテーマでお話しいただきました。

武庫地区人権啓発推進委員会は、今後、互いに尊重しあう人権文化の息づくまちづくりのため、事業に取り組みんでいきます。

(事務局)

平成29年度総会

平成28年度総会

平成30年度総会

視点



大切なもの

3月3日 突然の臨時休業。学校から生徒がいなくなった。教室には、普段は聞こえない時計の音。多くのものを失った。そして、窮屈な生活を余儀なくされた。

しかし、おかげで気づいたことも多かった。小さなあたりまえの日常の大切さ。今日を全力で丁寧に生活することの大切さ。そして、人との心の繋がりの大切さ。

現在、世の中は、真つ暗なトンネルのまったただ中。いつ終わるのか、先行きの見えない不安で苦しく窮屈な毎日。『出口のないトンネルはない。』という。必ず、この状況から抜け出し、あたりまえの日常を取り戻すことができるかと信じている。

今、我々に求められているのは、この現状をプラスに変えることのできる強さと逞しさ。なにより、相手を思いやる優しい心。

連日、心ない言動が報道されている。『優』という字は、「人」と「憂」。『憂』には、人の悲しみ、嘆き、思い通りにならないもどかしさ、つらさ、悩みという意味がある。つまり、『優』は、悲しみ、嘆き、悩んでいる人に人が寄り添っている姿を現している。だから、「やさしい」と読む世の中がこんな状況だからこそ、相手の立場になって言動できる優しい心が大切である。

この状況が、改めて『大切なもの』に気づかせてくれた。優しさのあふれる世の中に。

常陽中学校長 徳山 壮一

新型コロナウイルス感染症を「正しく恐れる」 〜感染拡大防止に向けて〜(武庫地域課)

新型コロナウイルス感染症対策にご尽力いただいている皆様にご感謝申し上げます。本市では積極的疫学調査等により感染者が継続的に確認されています。皆様には、引き続きの感染対策へのご協力をお願いいたします。

本市では施設内のクラスターは発生していませんが、高齢者の感染事例が複数あり、今後も県境をまたいでの接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店等の利用を控えるなど警戒が必要です。本市においても、迅速な対応で感染拡大防止に注力するとともに、民間病院との連携による帰国者・接触者外来の増設や、感染疑いのある方がより身近な医療機関で唾液採取による検査を受けられるようにするための準備を進めています。

8月には県と政令市、本市を含む中核市が一丸となり、以下の取組を進めていくことを確認しています。

- (1)濃厚接触者や関係者の迅速な特定とPCR検査等の弾力的実施により、2次、3次感染を阻止。
- (2)接待を伴う飲食店や酒類の提供を行う飲食店に対する、食品衛生法上の指導にあわせた感染防止策の周知の徹底。
- (3)県・市町が実施している対策や感染者発生情報など、県民にとってより一層わかりやすい情報提供の実施。
- (4)医療・検査は、しっかりと対応すること。

そこで、皆様におかれましては、感染拡大を予防する生活習慣として、「3密」(密閉・密集・密接)の回避や、身体的距離の確保、マスクの着用、咳エチケットの徹底、手洗い・手指消毒、体温測定や健康チェックといった各感染予防に取り組んでください。(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、マスクを外すなど、熱中症に考慮してください。

〇県境をまたいで不要不急の移動を自粛してください。特に、接待を伴う飲食店など感染リスクの高い場所への出入りは自粛するようお願いいたします。

〇兵庫県コロナ追跡システムなどの感染拡大防止システムが導入されている施設・店舗を利用する際は、メールアドレス等の登録にご協力をお願いいたします。

〇国が感染拡大防止のため、提供しているスマートフォンアプリである新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)については、多くの方が導入することで、効果が上がりますので、登録にご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に対する不安から、感染者やその接触者に対する差別が行われる事例があります。誤った情報に基づいた不当な差別、偏見、いじめ、SNS等での誹謗中傷や根拠のない差別的な書き込みなどは、決して許されるものではありません。

新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識、最新の知見や事例を共有することで、不確かな情報に惑わされたり、必要以上に恐れたりすることなく、一人ひとりがお互いを思いやり、冷静に行動することが必要です。

市ホームページでは、新型コロナウイルス感染症を「正しく恐れる」ための基礎知識と事例集をアップしています。

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kenko/kansensyo/1022894.html

お互いが思いやりを持ち、感染者、接触者、医療従事者など、新型コロナウイルスに立ち向かうすべての人に敬意を払いましょう。皆様への引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

武庫地域振興センター
所長 立石 孝裕

「尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例」ができました!

尼崎市では、2020(令和2)年4月1日に「尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例」をスタートさせました。

この条例の前文では、「人権とは一人ひとりがかけがえない尊厳を有する存在として尊重される権利であり、全ての人が生まれながらにして持っている普遍的な権利」と位置づけ、一人ひとりがかけがえない尊厳を有する存在であることが認められ、尊重される社会を実現していくために、子どもも大人も、また、個人や団体にかかわらず、私たちそれぞれが「不当な差別や排除暴力等を許すことなく、互いの多様性を認め合い、自分の人権だけでなく、他人の人権についても理解と関心を深め、これらを行動や態度で表していく必要がある、相互理解を深め、人権尊重について学び続けなくてはならない。こうした思いを共有し、将来にわたり人権文化いきづくまちづくりを進めていくための条例を制定します。」とあります。

条例の中身ですが、「市の責務」として、不当な差別及び排除の解消のための施策を策定し、実施すること、実施に当たっては、市民・事業者、関係行政機関と連携して取り組むこととしています。「市民等



くらしやすい「ふつう」にしよう
尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例
パンフレット

事業活動に関わる者の人権意識の高揚を図るとともに、人権文化いきづくまちづくりに寄

与するよう努めることなどが規定されています。

また、「施策の策定」のために、尼崎市は、「人権文化いきづくまちづくり計画」の策定に向けて、「審議会」を設置することも規定されています。

具体的取り組みは、この「計画」が策定されてからになります。

が、人権文化(すべての人々が、日常生活の中で互いの人権を尊重することを考えて行動することが自然である状態をいう)が社会に浸透し、尼崎市に住み、働き、学び、活動する人々が、互いに多様性を認め合い、つながりを持ち、支え合うことにより、暮らしやすいと実感することができるとしています。

取り組みを、まずは武庫地区から実践していければと思います。

(三澤 雅俊)

武庫小学校では昨年度まで、友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

その他社会教育指導員や武庫地区人権啓発リーダーの方々との交流や校外学習として部外研修会への参加も行ってきます。

さらさらのメンバーからは「二年間色々な講演会などを通じて人権に対する見識が広まり意識が高まりました。この活動をもっと多くの方に知って頂きたいです。」との感想が寄せられました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大による一斉休業や育友会の活動の縮小などの影響で、さくら会の活動ができていないのが現状ですが、来年以降はまた多くの方々に参加頂き、講演会などを通じて人権啓発活動をしていけたらと思っています。

私もこの活動を通じて人権というもののへの関心が高まりました。国内外に目を向けますと、価値観が多様化しグローバル化が進んだ現代社会において個人の尊厳を守るための人権啓発活動がより求められます。

また、そんな中において新型コロナウイルスの世界的な感染拡大もあり新たな人権課題というものも出てきました。本当に大小多くの課題がありますが、まずは個人や学校などで取り組めることを地道に積み重ねていくのが大事だと思えました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

連合育友会シリーズ③
武庫小学校における人権啓発活動
人権小集団グループ「さくら会」の活動について

今回は連合育友会シリーズの三回目として武庫小学校における人権啓発活動をご紹介します。

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

武庫小学校では昨年度まで友人会人権啓発部が主体となり、人権小集団グループ「さくら会」を組織し、外部の講師を招いて講演会や学習会を実施してきました。

令和元年度の活動実績としては、まず計6回の校内講演会を開催しました。

第一回は七月に「生徒の学力向上と高校入試について勉強しました。第二回は九月に「LGBTとクシャルマイノリティ」というテーマで、講師の方の体験を通して多様化する性の現状と差別や偏見をなくしていく取り組みについて学びました。

第三回は十月に「整理収納について」というテーマで整理収納アドバイザーの講師から基礎的な知識や自身の経験などをお話し頂きました。第四回は十一月に「同和問題について」ということで特にハンセン病の歴史や現状について学びました。

第五回は十二月に「ベックブックをいかにして、子育てをしてみませんか」というテーマでお話し頂き、人のやる気や元気を引き出すペーパーブックの効果や具体例やビデオを通じて学びました。第六回は一月に「アートセラピーについて」というテーマで絵画などを通じた心理療法について学びました。

武庫小学校教育友会
会長 寺尾 嘉雄

武庫しののめ
令和2年度 武庫しののめ編集委員

高津 省三 清水きぬみ 寺尾 嘉雄 内堀 悠子 保元万喜子
八谷 寿子 三澤 雅俊 徳山 壮一 横山智恵子 阪上 敏郎